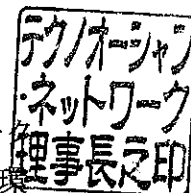




平成 22 年 8 月 25 日

水産海洋学会
会長 桜井 泰憲 様

テクノオーシャン・ネットワーク
理事長 浦 環



「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」

創設および候補者公募のお知らせ（推薦依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素よりテクノオーシャン・ネットワーク（TON）の諸事業に対し、多大なるご理解とお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、TON では、別紙のとおり、海洋立国日本の発展に多大なる貢献をされた故岡村健二氏を記念して、「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」を創設する運びとなりました。故岡村健二氏の遺志を継ぐ我が国の海洋工学分野の若い研究者・技術者を対象に、賞状及び金一封を贈呈することといたしました。

そこで、同賞に該当する候補者があられる場合は、別紙の様式に、必要事項をご記入の上、論文のコピーを添えて下記事務局あてに、9月21日（火）までにお送りください。選考委員会にて厳正な選考を行い、来る10月14日（木）から16日（土）に神戸で開催される Techno-Ocean 2010 の場において、第1回の授与式を執り行います。

よろしくご推薦のほど、お待ち申し上げます。

敬具

<送付先・お問い合わせ先>

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-11-1

（財）神戸国際観光コンベンション協会内

テクノオーシャン・ネットワーク事務局

TEL: (078) 303-0029

FAX: (078) 302-1870

E-mail: techno-ocean@kcva.or.jp

URL: <http://www.techno-ocean.com>

「海の前ティアを拓く岡村健二賞」創設趣意書

テクノオーシャン・ネットワーク理事長 浦 環

このたび、テクノオーシャン・ネットワーク（TON）では、岡村健二氏のご遺志を継ぐ事業の一つとして、ご遺族のご芳志をいただき、同氏が所属されていた三菱重工業株式会社のご厚意のもと、「海の前ティアを拓く岡村健二賞」を創設する運びとなりました。

故岡村健二氏は、日本の海洋開発について、先行的・共通的技術開発の必要性、重要性を強調され、海洋科学技術センター（JAMSTEC：当時）の設立および初代理事の一人として機器開発や深海研究の実施に積極的に取り組まれました。これは国家プロジェクトである有人潜水艇「しんかい 2000」や「しんかい 6000」の実現につながりました。また、海洋技術の先進国である米国を目標にわが国の海洋工学の向上に腐心され、わが国の海洋関係者に米国の技術レベルとわが国のそれとをしっかりと認識することの重要性を常に考えられ、米国で毎年開催される海洋国際コンベンションである OCEANS や ROV International（現 Underwater Intervention）等を日本に誘致することを考えておられました。その夢は、岡村氏が物故された後、ようやく 2004 年に NOAA 長官を基調講演に招いた Techno-Ocean / OCEANS 2004 として実現したわけです。また、氏は、技術者として世界トップクラスの高速ディーゼル機関を開発、完成させたディーゼル機関の国際的権威者でもあります。

このように、技術者として常に新しい技術への挑戦を続け、国際的視野に立ち、先見の明をもたれた岡村健二氏は、海洋立国日本の発展のためにご活躍され、多大なるご貢献をされました。

そこで、TON では、2010 年の Techno-Ocean 開催を機に、岡村健二氏の社会的功勞を偲び、学術的功績を讃え、「海の前ティアを拓く岡村健二賞」を創設し、同氏の遺志を継ぐ我が国の若い研究者・技術者に対して、これを贈呈することとしました。

岡村健二氏 プロフィール

大正元年 12 月 8 日長岡市にて出生。昭和 9 年東京帝国大学工学部卒業後、同年三菱航空（株）入社。昭和 39 年社名改称により三菱重工業（株）転籍。本社技術本部技術管理部長、同社技術本部長代理等の要職を経た後、昭和 62 年 1 月まで同社技術本部顧問。昭和 39 年 5 月より菱日エンジニアリング（株）取締役、三菱開発（株）常務取締役、菱和海洋開発（株）取締役社長を歴任。昭和 46 年海洋科学技術センター理事、昭和 61 年同顧問。昭和 50 年国際海洋資源工学委員会（ECOR）会長。昭和 26 年米国 Naval Academy から「船用高性能ディーゼル機関の開発」で PhD を授与。昭和 30 年紫綬褒章、昭和 55 年第一回 MTS 国際賞、昭和 58 年勲三等瑞宝章、昭和 62 年国際燃焼機関会議ゴールドメダルなどを受賞。平成元年 1 月 15 日逝去。

【「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」選考基準】

1. 日本の海洋開発について、先行的・共通的技術開発の必要性、重要性を認識し、機器開発や深海技術の研究開発に取り組み、顕著な成果をあげた若手研究者に対し「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」を授与します。
2. 過去2年間の間に「Techno-Ocean」を含め、海洋関連の内外の学会等において一編以上の査読付論文の発表を行った者で、論文発表時の年齢が35歳以下の者を対象にします。候補者の性別、現住所の国内外は問いません。
3. 論文発表期間は、Techno-Ocean開催の2年前の4月から、開催前の3月末までに公表された論文を対象とします。したがって、今回は、2008年4月1日～2010年3月31日までの期間に、内外の学会等で論文発表の実績がある者が候補対象となります。
4. 公募手続きは、自薦もしくは大学、研究機関等から選考委員会への推薦によるものとします。
5. TONが設置する「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」選考委員会で選考、推薦をおこない、これに基づいて理事会が表対象者を選定し、会長が決定します。
6. 受賞者は、二年に一度開催されるTechno-Oceanにおいて表彰されます。
7. 受賞者には、賞状と副賞（30万円）が贈呈されます。

【「海のフロンティアを拓く岡村健二賞」2010年の募集】

つきましては、今回の対象期間内（2008年4月から2010年3月）における公表論文の発表者から、受賞者を選考いたしますので公募を行います。

別紙の記入用紙に所要事項をご記入のうえ、該当論文のコピーを添付して、2010年9月1日～9月21日の期間内（締め切り当日消印有効）に、事務局まで郵便または添付ファイルにてe-mailでお送りください。

なお、受賞者は2010年10月14日（木）～16日（土）神戸にて開催される「Techno-ocean2010」において表彰予定です。

(別紙)

「海のフロンティアを拓く岡村健二賞 2010」候補推薦書

受付 No. 平成 年 月 日

提出年月日 平成 年 月 日

推薦者 (氏名) 印
(団体名)
(役職名)
(住所)
(電話)
(E-mail)

候補者	氏名	所属・役職名	連絡先
	(生年月日)		住所： 電話番号： E-mail：
論文	タイトル		
	公表時期	年 月 日	
	公表形式	(発表学会名、掲載誌名巻号。共著の場合筆頭著者名)	
推薦理由	独創性などを中心に推薦理由を別紙に 1000 字程度にまとめてください。		

注：自薦の場合、推薦者欄は記入不要。論文を添付してください